



中央検査部だより



2014. 6. 25 発行 第 49 号

変革の年

中央検査部技師長 室谷里見

昨年度は、予期しない生理検査部門の退職者による欠員のために、業務を円滑に遂行することができず、患者さんや臨床の先生方にご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。新年度となり、中央検査部も2名の新人技師を迎え再スタートしました。今年度は、「変革の年」と考えております。昨年度から、「その日に結果の出る外来」をキャッチフレーズに病院全体が変わろうとしております。検査部も協調して変わる時と考えております。すべてを変えることはできませんが、現在取り組んでいるのは、技師が2つ以上の得意分野を持つような仕組み（ローテーションまたは教育）を作り、守備範囲を広げる試みを実施しています。技術習得には時間を要するため、目に見える効果が現れるには少し先の話になるかもしれません。しかし、この仕組みが効果を現せば、少なくとも昨年度のように患者診療に影響を与える事態にはならないと確信しています。

「変わる」に拘れば、病院機能評価と ISO15189 の更新審査も今年度に予定されており仕事と時間に追われ「アッ」という間に1年が終わってしまう気がします。昨年度も取り上げましたが、世代も「代わり」当検査部スタッフは20代～30代が全体の半数以上を占めている状況です。新人スタッフの育成については、「ジェネラリスト」育成を第一の目標としています。「ジェネラリスト」を育成し、この「ジェネラリスト」の中から更に「スペシャリスト」を発掘することが、「検査のプロ集団」を維持するキーとなると考えます。自身の体型も「変え」ながら職務に専念したいと思います。今年度もどうかご支援のほどよろしくお願いいたします。



新人紹介



今年度から生理機能部門に配属されました、永井仁志と申します。香川県にある市中病院で7年間検査技師をしていました。このたび長男を授かり、妻の生まれ故郷でのびのび育てたいと思ひまして、防府市に参りました。最近は何に追われる日々で、仕事が心の休まる時間となっています。妻に怒られないように、仕事と育児の両立をがんばりたいと思ひます。まだ不慣れなことも多いですが、諸先輩方のご指導を賜り、職員や患者の皆様に信頼される検査技師になりたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

今年度から検体系部門に配属されました山本彩佳と申します。生まれも育ちも山口県で、この春山口大学を卒業いたしました。これから地域医療に貢献させていただけることを、非常にうれしく感じております。好奇心旺盛で、少しでも興味のあることは何でもやってみる性格なので、料理・お菓子作り・ピアノ・写真・植物栽培など、幅広い分野の趣味を持っています。諸先輩方には、お忙しい中、細やかなご指導をいただき、とても感謝しております。まだまだ至らない点もありますが、1日でも早くお役に立てるよう精一杯努力いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

検査室の取り組み(生化学検査部門)

生化学検査室では、検査値の変動を客観的に評価するための1つの指標として、基準変化値 Reference Change Value: RCV を用いています。

RCVとは $Z \times 2^{1/2} \times [(個体内変動 CV_i)^2 + (技術変動 CV_A)^2]^{1/2}$ より算出され、項目毎に異なる個体内変動、検査室での技術変動を考慮し、検査値の変動が有意な変化か否か判定する基準となります。Z 値は、99%を許容する基準(危険率1%で判定する基準)では $Z=2.58$ 、95%を許容する基準(危険率5%で判定する基準)では $Z=1.96$ を採用することで、検査値の変動を統計学的に評価することが可能であり、検体取り違いや異常変動の検出に役立てております。

RCV99%信頼値

TP:11.8%	CHE:22.9%	K:17.6%	TG:76.2%
ALB:14.5%	CK:83.1%	CL:4.7%	GLUC:22.6%
AST:44.2%	AMY:31.8%	Ca:9.1%	Mg:15.1%
ALT:65.8%	BUN:45.6%	IP:31.1%	Fe:96.5%
LD:31.6%	CRE:22.7%	T-CHO:19.9%	HbA1c:9.7%
ALP: 24.3%	UA:33.1%	HDL:26.8%	
γ -GT:52.2%	Na:3.1%	LDL:30.7%	

生化学検査室 佐々木宏典

緊急異常値について

検査室では下記の値を初めて認めた場合、緊急異常値として臨床医に連絡しています。緊急異常値とは即刻適切な処置をとらなければ生命が危ぶまれる異常値をさします。

生化学検査

pH	7.2 以下、7.6 以上
pO ₂	40mmHg 以下
pCO ₂	20mmHg 以下、70mmHg 以上
BUN	80mg/dL 以上
CRE	8.0mg/dL 以上
Na	120mmol/L 以下、165mmol/L 以上
K	2.0mmol/L 以下、7.0mmol/L 以上
Ca	6.0mg/dL 以下、13.0mg/dL 以上
LD	1000U/L 以上
CK	5000U/L 以上
GLU	50mg/dL 以下
NH ₃	300 μ mol/L 以上

血液検査

ヘモグロビン	5.0g/dL 以下
血小板数	3.0 $\times 10^4$ / μ L 以下、 100 $\times 10^4$ / μ L 以上
白血球数	2000 以下、30000 以上
白血球分類	芽球、異常細胞、10%以上の 異型リンパ球の出現
PT-INR	ワーファリン服用時 4.0 以上、 通常 2.0 以上
APTT	70 秒以上 (ヘパリン使用時を除く)
Fib	50mg/dL 以下
FDP	50 μ g/mL 以上
D/D	50 μ g/mL 以上

生化学検査室 佐々木宏典 血液検査室 乙藤萌

心エコー検査:共通枠の運用について



4月より心エコー検査共通枠の運用を開始し、循環器内科以外の他科からも依頼可能となりました。なお、予約の空きがない場合は生理機能検査室(内線513)へご連絡下さい。状況により対応させていただきます。

生理機能検査室